

雁研第一回公開研究会への招待

いま、なぜ谷川雁なのか？

雁の可能性の核心とは？

—「沈黙の15年」なる伝説？も検証し、雁の全体像を明らかにする—

今春、谷川雁研究会を発足させ、6月末には機関誌『雲よ——原点と越境——』創刊号を刊行して、はや3か月余。時代が大転換期を迎え、谷川雁がにわかに復活しつつある状況もうけて、各方面で反響を呼び起こし、評価と注目を集めているのは有難いことです。

つきましては、下記により、第一回の公開研究会を開催します。いまだに雁といえ、1965年に突然筆を折って沈黙した「伝説の詩人」とか「秘教的思想家」といったまことしやかな、あるいは神秘化したようなレッテルを貼って語られることが多いのですが、果たして、そんなくくり方のままでいいのでしょうか？そうした馬鹿げた「伝説」こそが雁の全体像把握を妨げ、その豊饒な可能性の開示を曇らせてきたのではないのでしょうか？

本研究会では、雁の全足跡、全仕事を丹念に辿って、可能な限りこの不世出の詩人、思想家、革命家の全体像を明らかにしつつ、その計り知れない面白みと可能性をみなさんと共同で掘り起こしていきたいと願っています。ぜひ奮ってご参集ください。

2009年10月

主催：谷川雁研究会 協賛：日本経済評論社／鷹揚の会

【記】

日時：2009年11月7日（土）午後1時半～4時45分（午後1時開場）

会場：文京区民センター 3-A 会議室 地下鉄三田線、大江戸線春日駅下車すぐ（A2出口）

参加費：500円（当日会場にてお受けします）

申込み 参加意思を下記研究会事務局までなるべく事前にお知らせください

◎二次会を巣鴨駅近くの居酒屋にて、午後5時半～8時開催（参加費3500円）

●プログラム

開会 司会：世話人 仁衡琢磨（IT関連企業役員 元ラボ会員）
基調レポート「雁の全体像をどう把握するか？」 代表：松本輝夫（ホト教育センター前会長）
「<運動体>谷川雁の軌跡」 米谷匡史（東京外国語大学教員）
特別挨拶 「谷川雁さんと私」 鈴木孝夫（言語学者 慶応義塾大学名誉教授）
雁制作の物語作品『国生み』を表現する子どもたち（映像紹介）
討議素材発言 佐藤泉（青山学院大学教員）
同上 「雁制作の物語作品で<世界の映像を裏返す>ことができた！」 河村昭利（鉄工・建設関連企業役員 元ラボ会員）
最晩年の雁作詞の歌：朗唱（「ぶどう摘み」他） 杉井倫子（翻訳会社勤務 ソプラノの歌手でもある）
全体討論
閉会 挨拶：世話人 佐藤邦彦（造園業 元ラボ・スタッフ）

※当日会場にて「谷川雁セレクション」（日本経済評論社刊）を2割引きにて販売します。

【連絡先】谷川雁研究会事務局